

児童発達支援の1日の流れと目的 ネクストエール 立川教室



時間	項目	具体的な内容	目的
10:00	入室	送迎車より指導員と入室	手を繋いで入室。道路では手を繋ぐ習慣を付ける。
	支度	靴と靴下を脱ぎ、自分の下駄箱に入れる。 お弁当、水筒、サービス提供記録ファイルを所定の位置に片付ける。 自分のロッカーにかばんをしまう。	自分のマーク、下駄箱、ロッカーを覚え、支度の順番を覚える。 自分の事は自分で行う練習。
10:10	排泄	トイレでの排泄の促し、おむつ交換。	排泄スキルを学び、自立への練習。 協力動作や着脱の練習。
10:15	自由遊び	指導員と感覚を刺激する遊びを行う。(スキンシップ、ごろごろ、ぐるぐる、トランポリン、バランスボールなど)	指導員や他児との関わる経験をする。 触れ合うことによりしっかりと向き合い愛着形成を構築していく。 求めている刺激を入れ、その後の療育での落ち着きへ導く。
10:30	体操	体を動かす。	しっかりと覚醒させる。 音楽を聞き、体を動かす。 指導員の模倣をする。 他児との活動に楽しさを感じる。
10:40	はじまりの会	手遊び おはようの歌、あいさつ 日にち、曜日、天気 名前呼び 予定の確認	着席行動、順番待ち、他児の活動に注目するなど社会性を学ぶ。 手遊び、触覚遊びを経験する中で、感覚過敏の調整や共感遊びの楽しさを知る。

10:50	課題	<p>●巧緻性 シール貼り はさみ 粘土 クレヨン ひも通し 月の製作物 等</p>	<p>●運動 マット バランスボール トランポリン ボルダリング ルールのある遊び (風船バレーなど) 等</p>	<p>●音楽 楽器を鳴らす 模倣遊び タッピング 等</p>	<p>●巧緻性・・・指先を刺激することで脳を刺激する。根気強さ、判断力、意欲、好奇心を養う。 ●運動・・・身体のバランスを育む。ボディイメージの構築により、姿勢保持、集中力、意欲、好奇心を養う。 ●音楽・・・音楽を介しコミュニケーション能力を高め、意欲、好奇心を養う。</p>
11:00	排泄	トイレでの排泄の促し、おむつ交換。			排泄スキルを学び、自立への練習。協力動作や着脱の練習。
11:05	散歩	目的(公園遊び等)を持ち、出かける。			外気に触れ、身体的、精神的な気分転換を図る。他児(小集団)を意識する。手を繋いで歩く経験をする。
	公園遊び	固定遊具、砂場など個々に合わせて遊ぶ。			遊具(運動)や砂場(触覚)で遊ぶ経験を通して運動機能を高める。チャレンジする気持ちを養う。
11:50	食事	個々に合わせた支援をする。			支度、片付けを通して手順を覚える。自分の事は自分で行う練習。 家庭、家族以外との食事の経験をする。食事の楽しさを味わう。 スプーン、フォーク、箸、コップの練習。 個々に合わせた摂食指導。 食形態の確認、咀嚼、嚥下の状況把握を行う。
12:20	着脱	着脱の練習や身支度を行う。			協力動作や着脱の練習。
12:25	個別課題	個々に合わせた教材を利用して課題に取り組む。			個々に合わせた課題(認知面、コミュニケーション面)を行うことで、認知発達を伸ばしていく。
12:50	帰りの会	パネルシアターや大型絵本を見る。			見る力を養う。終了前の区切りとして終わりを意識する。
13:00	送迎				保護者の方への申し送り。お子さまの様子の共有。一日頑張った達成感を味わう。